

南海トラフ地震発生時の 初動手順

3階

安全を確保し、冷静かつ迅速に！

1 職員及び来庁者の安全確認

① 地震による負傷者がいないか確認

(各部ごとに必要な対応を取り、状況を総務部に報告)

(内線1303～9、外線22-0390)

② 情報連絡員2名は速やかに市役所に移動

2 施設及び庁舎周辺の被害状況確認

① 庁舎3階の被害状況・庁舎外観を確認

・火災、ガス・水漏れ、窓ガラスの破損等を確認

(総務部・地域創生部・農山漁村振興部・生産流通部各1名〔計4名〕

は必要な対応を取り、状況を総務部に報告)

② 屋上から双眼鏡〔総務部に配置〕で状況を確認

(農山漁村振興部1名、生産流通部1名)

・庁舎周辺の地震被害状況・交通状況の確認

・津波の到来を確認次第、総務部に連絡

3 地域住民の避難誘導

① 1階正面玄関・通用口・階段に誘導職員配置

(総務・地域創生部1名、農山漁村振興部2名)

② 3階階段に職員を配置し4階・5階へ誘導

(農山漁村振興部1名、生産流通部1名)

■葛港・発災後46分で +1mの津波到来

〃 54分で7.40mの最大津波到来